

01	地域連携推進オホーツク活性化事業	カテゴリー	移住交流、地域交通、地域資源、産業振興
		関連するSDGsのゴール	    
02	流氷トラスト加速化プロジェクト推進事業	カテゴリー	地域交通、ゼロカーボン、地域資源、産業振興
		関連するSDGsのゴール	        
03	オホーツク・スポーツブランド化推進事業	カテゴリー	スポーツ
		関連するSDGsのゴール	 
04	知床自然遺産インバウンドおもてなしステップアップ事業	カテゴリー	地域資源、産業振興、環境生活
		関連するSDGsのゴール	     
05	オホーツク観光再生事業	カテゴリー	移住交流、地域資源、産業振興
		関連するSDGsのゴール	  
06	オホーツク「食」のブランド化促進事業	カテゴリー	地域資源、産業振興
		関連するSDGsのゴール	    
07	オホーツク地域人材確保・定着促進事業	カテゴリー	担い手確保・育成
		関連するSDGsのゴール	   
08	オホーツクあぐりテロワール魅力発信事業	カテゴリー	移住交流、産業振興、農林水産業
		関連するSDGsのゴール 寄附金活用	    
09	オホーツクスマートアグリ推進事業	カテゴリー	DX、農林水産業
		関連するSDGsのゴール	        
10	農村を支える多様な担い手確保推進事業	カテゴリー	担い手確保・育成、農林水産業
		関連するSDGsのゴール	    
11	脱プラ・着モク！脱炭素化促進事業	カテゴリー	ゼロカーボン、地域資源、農林水産業
		関連するSDGsのゴール	      
12	オホーツク東部地材地消推進事業	カテゴリー	ゼロカーボン、地域資源、担い手確保・育成
		関連するSDGsのゴール	    



01 地域連携推進オホーツク活性化事業

カテゴリー

移住交流、地域交通、地域資源、産業振興



流氷の日バスツアーの様子

事業概要（令和2年～令和4年）

持続可能で活力ある地域づくりの実現に向け、交流・関係人口の拡大や人口定着による地域経済の活性化を図るため、行政はもとより、地域の多様な関係者が有機的に連携しながら、地域資源を活用した新たな取組や地元愛の醸成、効果的な情報発信を推進しています。

● 令和4年度の主な実績

管内地域住民を対象にオホーツクの資源である流氷を生かした観光を目的に、「網走流氷観光砕氷船おーろら号」を活用した「流氷の日バスツアー」を実施したほか、昨年度作成したポータルサイト「オホーツクNOW」を活用して地域PR動画や地域情報を発信しました。

関連するSDGsのゴール



02 流氷トラスト加速化プロジェクト推進事業

カテゴリー

地域交通、ゼロカーボン、地域資源、産業振興



流氷トラスト運動PR動画

事業概要（令和4年～令和6年）

地域が誇る自然の周知・保全により、持続的で活力あるオホーツクを実現するためオホーツク流氷トラスト運動で掲げる「流氷を守ろう！」を合言葉にオホーツク流氷トラスト運動の地域への浸透に向けた取組の通年化と、環境保全を通じた地域のPRに取り組んでいます。

● 令和4年度の主な実績

管内住民を対象に「公共交通に乗って流氷を守ろう！キャンペーン」を実施したほか、環境啓発と観光要素を入れた啓発用リーフレットの作成及び流氷に関わる地域のキーパーソンへのインタビューをもとに動画作成を行い流氷トラスト運動のPRを行いました。

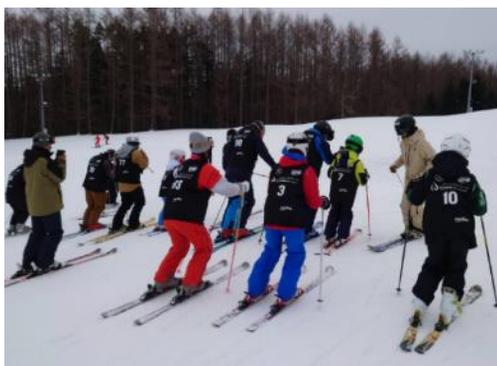
関連するSDGsのゴール



03 オホーツク・スポーツブランド化推進事業

カテゴリー

スポーツ



オホーツクモーグルキャンプ2022内のレッスン中の様子

事業概要（令和2年～令和4年）

スポーツ関係者の交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、管内市町村及び関係機関で構成する協議会を設置し、夏は冷涼で日照率が高いなどの優れた気候特性を活かしたスポーツ合宿の誘致等に向けた取組を進めています。

● 令和4年度の主な実績

オホーツクモーグルキャンプ2022を開催したほか、オホーツク管内にて合宿を行う団体に対してオホーツクスイーツ販売店のスイーツを提供しました。

関連するSDGsのゴール



04 知床自然遺産インバウンドおもてなしステップアップ事業

カテゴリー

地域資源、産業振興、環境生活



外国人対応基礎講習会の様子

事業概要（令和3年～令和5年）

世界自然遺産「知床」では、知床の価値や利用マナーを正しく伝えるなど外国人来訪者の受入体制を充実していく必要があることから、外国人対応基礎講習会の実施や、利用マナーの普及啓発を行うなど地域一体となった受入体制の向上・拡大・定着と段階的なステップアップを進めています。

● 令和4年度の主な実績

外国人旅行者を受け入れる地域として必要な心構えなど、より良いコミュニケーションを目指したインバウンド対応能力向上を図る講演会の実施と知床の利用ルールに関するステッカーの作成・配布を行いました。

関連するSDGsのゴール





05 オホーツク観光再生事業

カテゴリー

移住交流、地域資源、産業振興



他県連携相互送客促進事業・静岡会場の様子

事業概要（令和3年～令和5年）

コロナ禍で変わる旅のスタイルに対応し、オホーツク地域の域外からの交流関係人口の増加、観光産業の振興を図るため、地域の特性・資源を活かし、管内市町村が連携しての戦略的な個人・団体旅行（外国人を含む）を誘致しています。

また、豊かな自然環境、地域の産業・文化などと調和した観光の確立及び地域の優位性を活かした観光地づくりを推進しています。

● 令和4年度の主な実績

地域と連携した観光プロモーション（札幌市、東京都、静岡市、名古屋市、神戸市）を実施しました。

学校関係者や旅行代理店等を対象に、教育旅行説明会・相談会（東京都、大阪府）を実施しました。

関連するSDGsのゴール



06 オホーツク「食」のブランド化促進事業

カテゴリー

地域資源、産業振興



オホーツクフェアinチ・カ・ホ（札幌市）の様子

事業概要（令和3年～令和5年）

オホーツク地域のブランド力を向上させ、「オホーツク」の知名度をより高めていくため、地域資源を活かした多様な産品を管内外に発信するとともに、商品開発等を推進し、食関連産業の総合的な振興を図る取り組みを進めています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で中小企業が物産展等に出席する機会が減少していることから、振興局が主体となってPR機会を提供することにより、販路拡大に繋げる取り組みを進めています。

● 令和4年度の主な実績

チ・カ・ホ（札幌市）や羽田空港での管内商品販売イベントの開催や管内産品を活用した「地産産たくさんオホーツク弁当」の開発を管内事業者等と共に実施しました。

関連するSDGsのゴール



07 オホーツク地域人材確保・定着促進事業

カテゴリー 担い手確保・育成

事業概要（令和4年～令和6年）

人手不足の深刻化やコロナの影響を受けている業種を対象とし、管内企業の人材確保と職場定着を促進することで、オホーツク地域の経済・雇用の活性化を図ります。



セミナーの様子

● 令和4年度の主な実績

管内3地域（北見市、網走市、紋別市）において、農林水産業や建設業など幅広い業種の管内企業を対象に「人材確保・定着促進セミナー」を行いました。

関連するSDGsのゴール



08 オホーツクあぐりテロワール魅力発信事業

カテゴリー 移住交流、産業振興、農林水産業

事業概要（令和3年～令和5年）

寄附金活用

新型コロナウイルス感染症を契機に、地域の食の価値と魅力を見つめ直す機会となっていることをチャンスと捉え、オホーツクの農業・農村・農畜産物の魅力を再発信し、管内の農業・農村・農畜産物の認知度向上、付加価値向上に取り組むとともに、消費者へのPR、消費拡大につなげることを目的としています。



右図 オホーツクスイーツ&ミルクスタンプラリーPRポスター

左図 豆キュンプロジェクトイメージ図、豆キュン商品写真

● 令和4年度の主な実績

オホーツクスイーツ&ミルクスタンプラリーの実施、オホーツク産農畜産物消費拡大・PRの取組としてビーンズセミナーの開催、豆キュンプロジェクトの実施、農業者の方々の付加価値向上に向けた研修を実施しました。

関連するSDGsのゴール





09 オホーツクスマートアグリ推進事業

カテゴリー

DX、農林水産業

事業概要（令和3年～令和5年）



スマート農業セミナーの様子

オホーツク管内の農業においては経営規模の拡大が進んでおり、これに対応しながら、安定的に農畜産物を供給していく必要があります。

このため、省力化や収量・品質向上が期待されるスマート農業の導入や、農業生産工程を適切に管理していく手法であるGAPの取組を推進することにより、ハード面・ソフト面双方での効率的な農業の実現を図ります。

● 令和4年度の主な実績

スマート農業の普及促進のため、農業用ドローンを経営者向けのセミナー開催や農業者向けのパンフレットの作成・配布を行ったほか、GAPの推進のため、農業者のGAP実践に向けた研修会や、関係者による意見交換会を開催しました。

関連するSDGsのゴール



10 農村を支える多様な担い手確保推進事業

カテゴリー

担い手確保・育成、農林水産業

事業概要（令和4年～令和6年）



就農イベントの様子

農業・農村地域においては、担い手不足が深刻化する一方で、コロナ禍で農業や地方への移住が注目されていることから、従来型の大規模畑作・酪農だけではない、多様な就農形態の可能性を示すことにより、新規就農者及び雇用労働者の確保を目指します。

● 令和4年度の主な実績

市町村、農協、農業団体等を構成員とした「オホーツク新規就農者対策会議」での情報共有、就農フェア（札幌、東京、大阪）への出展、東京農業大学オホーツクキャンパスと連携したセミナーの開催、退職予定自衛官向けの農業現場体験会等の取組を実施しました。

関連するSDGsのゴール



11 脱プラ・着モク！脱炭素化促進事業

カテゴリ

ゼロカーボン、地域資源、
農林水産業

札幌市チ・カ・ホにおけるオホーツク産木製品のPR

事業概要（令和4年～令和6年）

ゼロカーボン北海道の実現に向けて、炭素を貯蔵・固定する木材の有効利用を促進させるため、オホーツク地域で生産されるアイススプーンや経木などの「身近な木製品」を「脱プラスチック」のモデルとするとともに「PR媒体」として活用し、一般消費者や民間企業向けに木製品及びオホーツク地域のPRを行っています。

令和4年度の主な実績

管内の飲食店や首都圏のどさんこプラザなどへの木製スプーン配布や東京ビッグサイトでのカタログ配布、木材利用のPR動画の上映を行いました。

関連するSDGsのゴール



12 オホーツク東部地材地消推進事業

カテゴリ

ゼロカーボン、地域資源、担い
手確保・育成

北見地域地材地消見学会の様子（伐採現場）

事業概要（令和3年～令和5年）

北見地域の川上から川下に至る関係者で構成された「北見の地域材活用推進の会」を中心に、地域資源を活かした木材利用意識の醸成と、地元企業が有する木材利用技術の継承を図るため、関係者の情報交換会や将来を担う学生等を対象に地材地消見学会を開催するなど地域材活用への取組を進めています。

令和4年度の主な実績

将来を担う学生を対象に、伐採現場から製材工場、地域材を使用した建設中の施設を巡る「北見地域地材地消見学会」を開催したほか、「北見の地域材活用推進の会」の情報交換会を開催し、今後も関係者が連携し地材地消に取り組んでいくことを確認しました。

関連するSDGsのゴール

